



新日鐵住金

NIPPON STEEL & SUMITOMO METAL

2013年度 3Q決算説明会

執行役員財務部長
宮本 勝弘

2014年1月30日

特に断りのない限り、本資料中の財務数値は連結数値。

1. 2013年度3Q実績と下期決算見通し
2. 中期経営計画の進捗状況
3. ご参考

1. 2013年度3Q実績と下期決算見通し

2013年度第3四半期実績と下期予想の概況

需給環境 (13年度下期見通し)

- 国内鋼材需要 : 製造業向けは、上期に引き続き堅調な自動車等に加え、造船向け等も下げ止まり
建設向けも復興需要継続や緊急経済対策に伴い、下期にかけて増加傾向
- 国際市況 : 中国鉄鋼メーカーの高生産は依然継続、鋼材需給・アジア市況については、引き続き注意が必要

当社の取組み

- 粗鋼量: 13上期 2,302万t → 13下期 2,280万t^{*1} (対上期: -22万t)
- 出荷量: 13上期 2,097万t → 13下期 2,110万t^{*1} (対上期: +13万t)
- 中期経営計画に基づき最適生産体制の構築、グループ会社の体質強化等の施策を着実に実行
- 米国アラバマ工場の買収合意など、グローバル展開も順調に進展

決算概況

- 下期の見通しは経常損益 1,664億円(対見通し - 億円)^{*2}、当期損益 1,045億円(対見通し+200億円)^{*2}
- 通期経常損益は 3,400億円の見通し(対見通し - 億円)^{*2}
- 期末の剰余金の配当は、3円/株。年間配当金は5円/株(連結配当性向約21%)の見通し

*1 単独ベース(日鉄住金鋼鉄和歌山含む)

*2 対前回公表(10/30)値

主要需要分野の活動水準推移

		FY12 年度	FY13							差異		
			1Q	2Q	上期	3Q *2	4Q 見通し *2	下期 見通し *2	年度 見通し *2	13/2Q → 13/3Q	13/上 → 13/下見	FY12 → FY13見
建設	住宅着工戸数 (万戸)	89	24	26	50	27	20	47	97	+1	-3	+7
	非住宅着工 (万㎡)	5,203	1,452	1,463	2,914	1,400	1,325	2,724	5,639	-63	-190	+436
	公共工事受注*1 (10億円)	6,802	1,631	2,411	4,042	1,915	1,749	3,664	7,706	-496	-378	+904
自動車	完成車生産台数 (万台)	955	228	246	474	250	268	518	992	+4	+44	+37
	完成車輸出台数 (万台)	466	116	119	235	126	123	250	485	+7	+15	+19
	海外生産(8社) (万台)	1,531	400	389	788	427				+38		
産業機械	大中型ショベル (千台)	71	18	20	38	19	17	37	75	-1	-2	+4
	金属工作機械 (千ト)	395	71	85	156	92	96	188	344	+7	+31	-51
造船	新造船起工 (当社推定) (万グロスト)	1,335	300	300	599	315	325	640	1,239	+16	+41	-96
リグカウントの状況		CY07平均	CY08平均	CY09平均	CY10平均	CY11平均	CY12平均	直近				
米国		1,768	1,879	1,089	1,546	1,875	1,919	1,777 (14/1/24)				
深井戸(≥15,000ft)		222	283	249	249	395	324	315 (13/11)				
北米・露・中を除く世界		1,005	1,079	997	1,094	1,167	1,234	1,335 (13/12)				

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 建設工事受注動態統計の公共工事受注額 *2 1月中旬見込み値

主要需要分野の鋼材消費推移

(単位:万ト)	FY12 年度	FY13							差異		
		1Q	2Q	上期	*1 3Q	4Q*1 見通し	*1 下期 見通し	*1 年度 見通し	13/2Q → 13/3Q	13/上 → 13/下見	FY12 → FY13見
全国粗鋼生産量	10,730	2,807	2,772	5,580	2,814	2,785	5,600	11,180	+41	+20	+450
国内鋼材消費	6,142	1,540	1,608	3,148	1,641	1,597	3,238	6,386	+33	+90	+244
製造業比率 (%)	64.2	63.2	62.8	63.0	62.2	63.7	62.9	62.9	+0.6	-0.0	-1.3
普通鋼鋼材消費	4,895	1,220	1,278	2,498	1,311	1,277	2,588	5,086	+33	+90	+191
建設	2,082	538	567	1,105	588	551	1,139	2,244	+21	+34	+162
製造業	2,812	682	712	1,393	723	726	1,448	2,841	+11	+55	+29
ウチ、造船	435	98	98	196	100	101	201	397	+2	+5	-38
ウチ、自動車	1,114	274	290	564	297	304	601	1,165	+7	+37	+51
ウチ、産業機械	469	116	123	239	125	124	249	488	+2	+10	+19
ウチ、電機機械	302	74	80	154	74	78	152	306	-6	-2	+4
特殊鋼鋼材消費	1,247	320	330	650	330	320	650	1,300	-	-	+53
鋼材輸入	592	135	142	277	180				+38		
鋼材輸出	3,982	1,022	1,006	2,028	973				-33		

(出所:各種統計資料・当社推定) *1 1月中旬見込み値

当社製鉄事業諸元

(単位:万ト)	FY12 年度	FY13									差異		
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q 見通し	(前回見込) *4	下期 見通し	(前回見込) *4	年度 見通し	13/2Q → 13/3Q	13/上 → 13/下見	FY12 → FY13見
出銑量 *1	4,390	1,130	1,147	2,277	1,141	1,090	(2,270)	2,230	(4,550)	4,510	-6	-47	+120
粗鋼生産量(連結) *2	4,603	1,213	1,214	2,427	1,226	1,180	(2,400)	2,400	(4,830)	4,830	+12	-27	+227
粗鋼生産量(単独) *2	4,355	1,150	1,152	2,302	1,163	1,120	(2,280)	2,280	(4,580)	4,580	+11	-22	+225
鋼材出荷量 *2	4,097	1,029	1,068	2,097	1,038	1,070	(2,130)	2,110	(4,230)	4,210	-30	+13	+113
シームレス出荷量 *2	108	26	32	58	30	31	(60)	61	(118)	120	-2	+3	+12
鋼材平均価格 *3 (千円/ト)	80.1	82.5	86.3	84.4	86.7	86	(85)	86	(85)	85	+0.4	+1.6	+4.9
鋼材輸出比率(%) *3 [金額ベース]	44	49	47	48	45	45	(46)	45	(47)	46	-2	-3	+2
為替レート(¥/\$)	82	98	98	98	100	100	(100)	100	(99)	99	2円安	2円安	17円安

*1 北海製鉄・日鉄住金鋼鉄和歌山含み *2 FY12上期は新日鉄+住金にて表記

*3 FY12上期迄は新日鉄・住金の加重平均にて表記 *4 前回公表(10/30)値

2013年度第3四半期実績と下期予想

(単位:億円)	FY12 ^{*1} 年度実績 (両社合算 ベース)	FY13							差異				
		1Q	2Q	上期	3Q	4Q 見通し	下期 見通し (前回見込) *2	年度 見通し (前回見込) *2	13/2Q → 13/3Q	13/上 → 13/下見	FY12 → FY13見		
売上高	50,835	12,868	13,877	26,745	13,629	14,126	(27,755)	27,755	(54,500)	54,500	-248	+1,010	+3,665
営業損益	358	560	832	1,392	823						-9		
経常損益	877	864	872	1,736	1,085	579	(1,664)	1,664	(3,400)	3,400	+213	-72	+2,523
製鉄	509	757	825	1,582	975	493	(1,468)	1,468	(3,050)	3,050	+150	-114	+2,541
製鉄以外 セグメント	406	101	59	161	103	126	(244)	229	(405)	390	+44	+68	-16
調整額	-38	5	-12	-7	6	-39	(-48)	-33	(-55)	-40	+18	-26	-2
特別損益	-3,595	156	9	165	*3 121						+112		
当期損益	-2,584	633	521	1,155	772	273	(845)	1,045	(2,000)	2,200	+251	-110	+4,784
<一株当り 当期損益>		<7.0>	<5.7>	<12.7>	<8.5>	<3.0>	<9.3>	<11.5>	<22.0>	<24.2>	<+2.7>	<-1.3>	

有利子負債 高	25,430	24,968
D/E レシオ	1.06	1.02

	24,343	24,068
	0.96	0.92

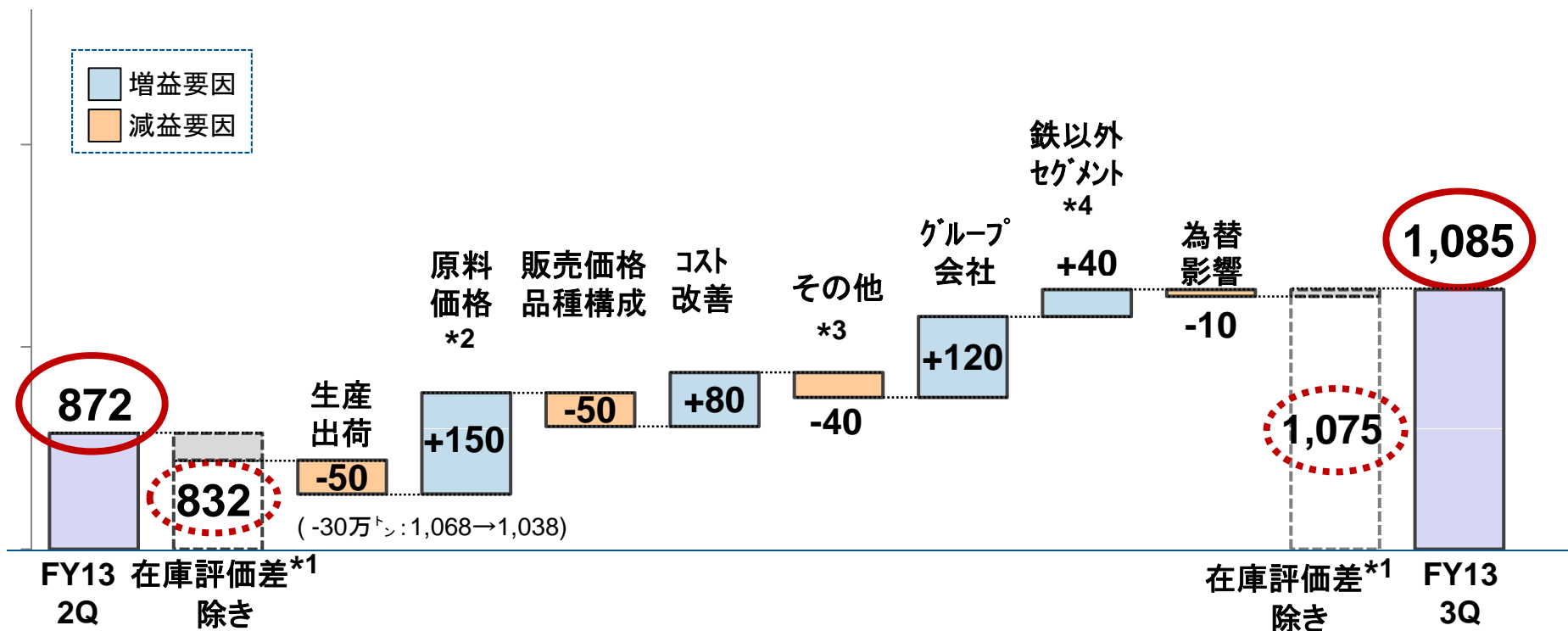
*3 特別損失内訳	1Q	2Q	3Q
投資有価証券売却損益	156	155	134
設備休止関連損失	-	-145	-13
合計	156	9	121

*1 FY12上期は旧両社合算ベース *2 前回公表(10/30)値

経常損益分析 (13/2Q→13/3Q)

(単位:億円)	FY13/2Q [A]	FY13/3Q [B]	増減 [A→B]
経常損益	872	1,085	+213
製鉄	825	975	+150
鉄以外セグメント	59	103	+44
調整額	-12	6	+18

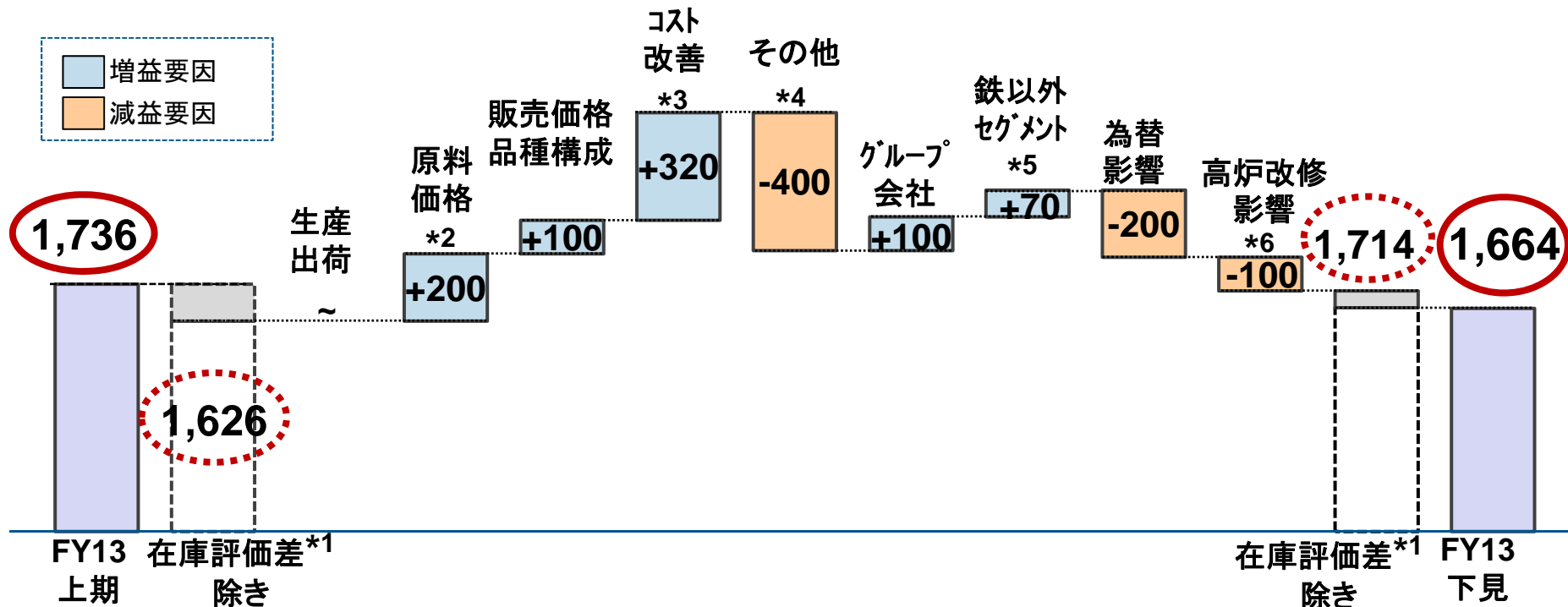
- *1 在庫評価差
FY13/2Q:+40→FY13/3Q:+10
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 償却費、賞与単価アップ他
- *4 エンジニアリング+39(季節差)、化学+5
新素材+3、システムソリューション-3



経常損益分析 (13/上期→13/下期見通し)

(単位:億円)	FY13上期 [A]	FY13下期 見通し [B]	増減 [A→B]
経常損益	1,736	1,664	-72
製鉄	1,582	1,468	-114
鉄以外セグメント	161	229	+68
調整額	-7	-33	-26

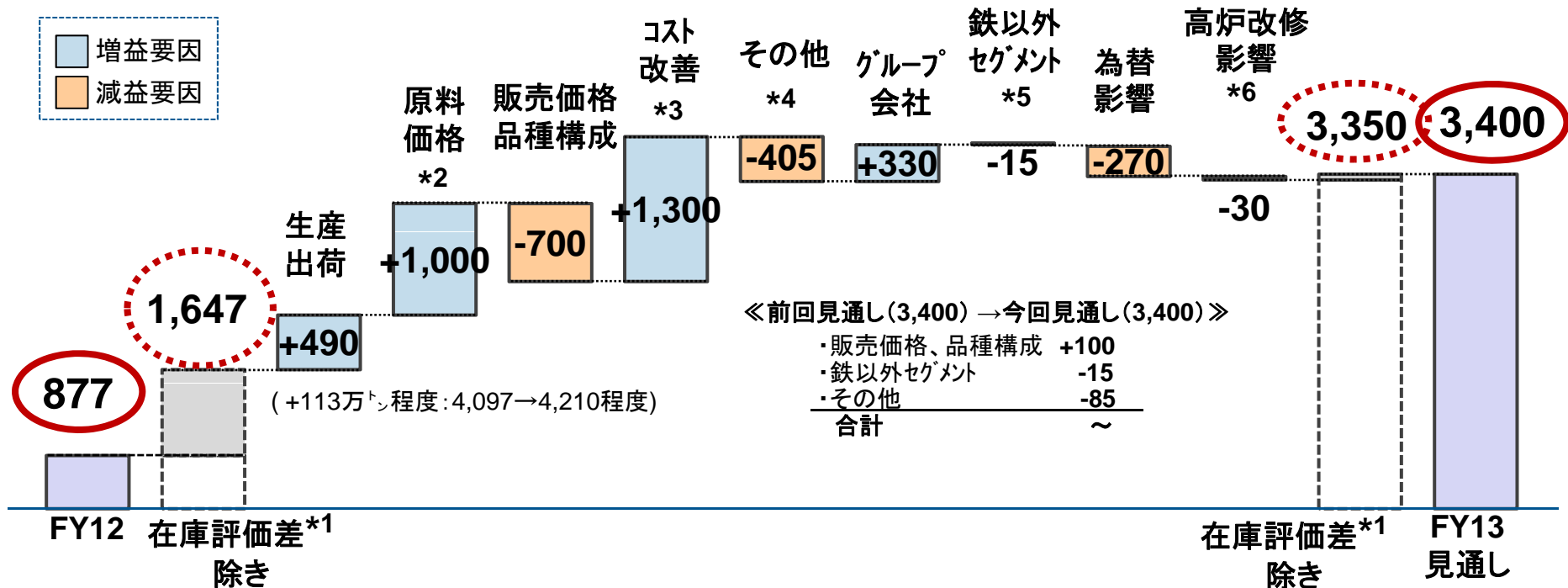
- *1 在庫評価差
FY13/上:+110 → FY13/下見:-50
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+60含む
- *4 償却費、賞与単価アップ、名古屋停電影響他
- *5 エンジニアリング+78(季節差)、化学-40、
新素材-2、システムソリューション+34
- *6 八幡第4高炉改修コスト影響-100



経常損益分析 (12年度→13年度見通し)

(単位:億円)	FY12* [A]	FY13見通し [B]	増減 [A→B]
経常損益	877	3,400	+2,523
製鉄	509	3,050	+2,541
鉄以外セグメント	406	390	-16
調整額	-38	-40	-2




- *1 在庫評価差
FY12:-770 → FY13見:+50
- *2 キャリーオーバー影響含む
- *3 統合効果+300含む
- *4 賞与単価アップ他
- *5 エンジニアリング-31、化学+3、
新素材+1、システムソリューション+14
- *6 FY12君津第2高炉改修コスト影響-70 →
FY13八幡第4高炉改修コスト影響-100



* FY12: 旧両社合算ベース

製鉄以外セグメント概況 (13年度見通し)

(単位:億円)

FY13年度見通し (対前年度)	売上高	経損	常益	概況
 その情熱で、先端へ 新日鉄住金エンジニアリング エンジニアリング	3,000 (-30)		150 (-31)	継続的なコスト改善努力とリスク管理の徹底を図るも、過年度における受注規模減少により、減収・減益。
 新日鉄住金化学 化学	2,300 (+343)		100 (+3)	化学品の市況上昇や機能材料事業の拡販等により増収見込み。 経常損益は、化学品のマージン改善、為替影響等により増益見通し。
新日鉄住金マテリアルズ株式会社 新素材	360 (-62)		10 (+1)	金ワイヤの銅化影響により減収。 経常損益はワイヤ市場等で競争激化も、全社的なコスト改善努力を推進し、前年同期並みの見通し。
 NS Solutions システムソリューション	1,780 (+61)		130 (+14)	社内業務基盤の刷新・グローバル対応等による販管費の増加を見込むも、業務ソリューション(産業・流通、金融)分野を中心に増収・増益の見通し。
製鉄以外セグメント外計	7,440 (+311)		390 (-16)	

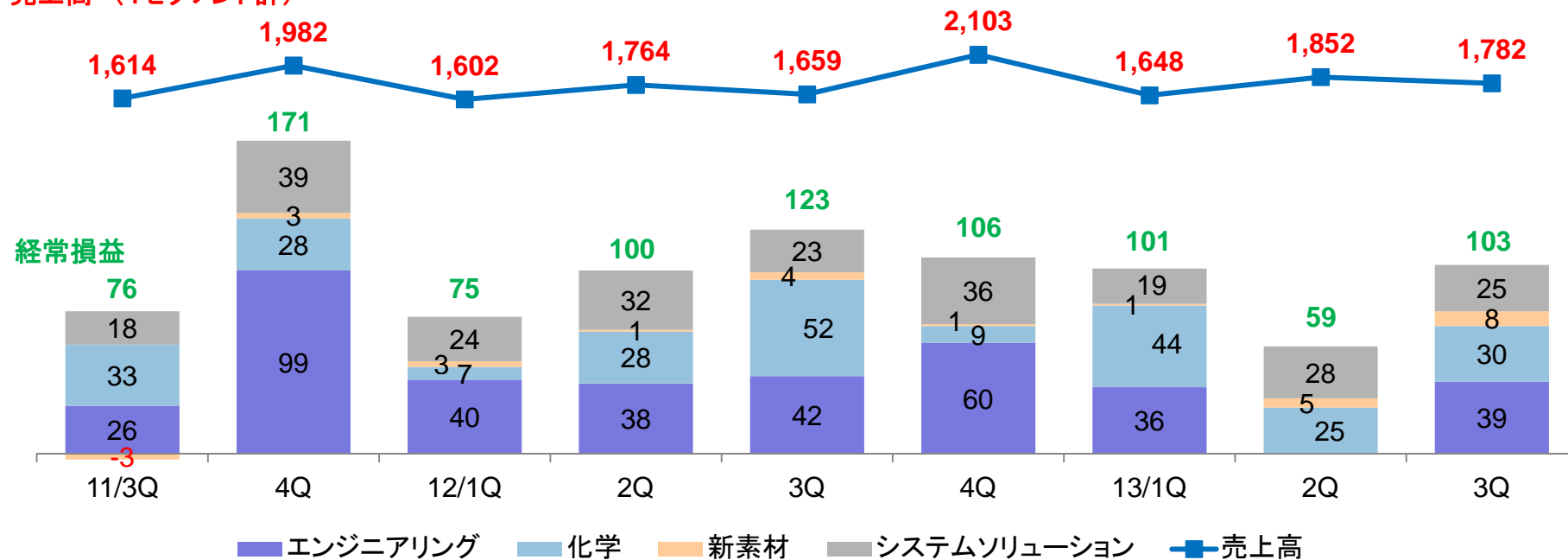
(参考) エンジニアリング事業環境

(億円)	FY12
受注高	2,700
受注残	3,000

<ご参考> 製鉄以外セグメント・四半期別 経常利益推移

(単位:億円)	11/3Q	4Q	12/1Q	2Q	3Q	4Q	13/1Q	2Q	3Q
エンジニアリング	26	99	40	38	42	60	36	-0	39
化学	33	28	7	28	52	9	44	25	30
新素材	-3	3	3	1	4	1	1	5	8
システムソリューション	18	39	24	32	23	36	19	28	25
製鉄以外セグメント計	76	171	75	100	123	106	101	59	103

売上高 (4セグメント計)



貸借対照表 (2013/3月末→2013/12月末)

2013年12月末BS : 総資産 70,939億円、D/Eレシオ 0.92

(単位:億円)	FY12	FY13	対前年度末	
	3E	12E	増減	%

【資産の部】

流動資産	21,107	22,191	+1,083	+5%
固定資産	49,787	48,748	-1,039	-2%
資産計	70,894	70,939	+44	+0%

【負債及び純資産の部】

流動負債	19,811	18,538	-1,273	-6%
固定負債	21,700	20,767	-933	-4%
負債計	41,512	39,305	-2,206	-5%
純資産	29,382	31,633	+2,250	+8%
自己資本	23,940	26,120	+2,180	+9%

有利子負債残高	25,430	24,068	-1,362	-5%
D/Eレシオ	1.06	0.92	-0.14	

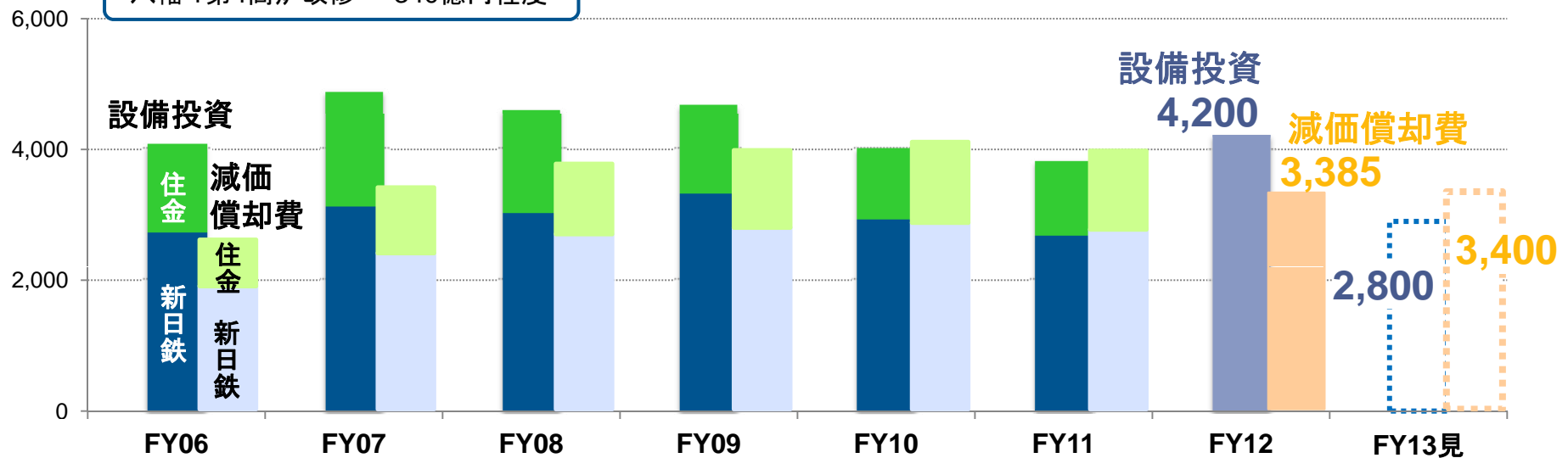
設備投資・減価償却費

(単位:億円)

新日鐵住金 (上段:新日鐵 下段:住金)	FY06	FY07	FY08	FY09	FY10	FY11	FY12	FY13 見通し
設備投資額 <工事ベース>	4,050 (2,700) (1,358)	4,900 (3,100) (1,788)	4,600 (3,000) (1,591)	4,650 (3,300) (1,366)	4,000 (2,900) (1,099)	3,800 (2,650) (1,157)	4,200	2,800 程度
減価償却費	2,647 (1,925) (722)	3,465 (2,440) (1,025)	3,835 (2,737) (1,098)	4,048 (2,840) (1,208)	4,177 (2,915) (1,262)	4,038 (2,809) (1,229)	3,385	3,400 程度

2013年度の主な設備投資案件

八幡 : 第4高炉改修 340億円程度



※ 設備投資額 : FY06~12の新日鐵住金は、新日鐵と住金の合算値を50億円単位で四捨五入

当期末の剰余金の配当方針について

当期末の剰余金の配当につきましては、平成26年3月期第2四半期決算発表時点において未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき3円(年間配当金としては1株につき5円、連結配当性向約21%)とさせていただく方針と致します。

< 利益配分に関する基本方針 >

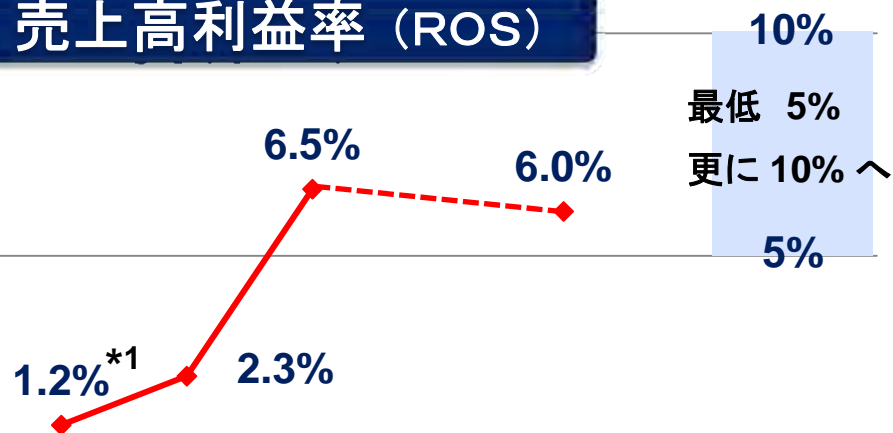
当社は、業績に応じた利益の配分を基本として、企業価値向上に向けた投資等に必要な資金所要、先行きの業績見通し、連結及び単独の財務体質等を勘案しつつ、第2四半期末及び期末の剰余金の配当を実施する方針と致しております。

「業績に応じた利益の配分」の指標としては、連結配当性向年間20%程度を基準としております。

2. 中期経営計画の進捗状況

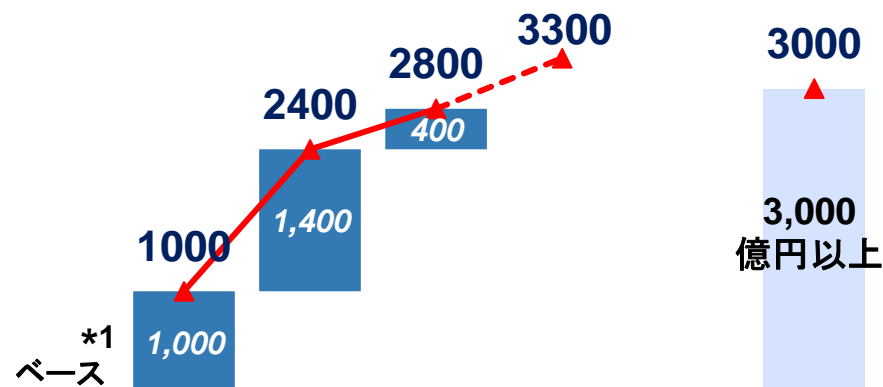
① 定量的指標の推移

売上高利益率 (ROS)



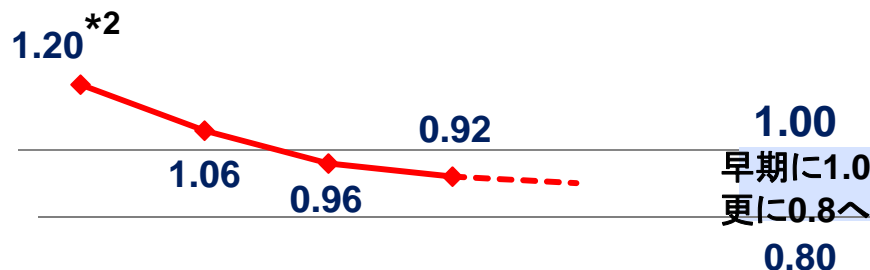
上期	下期	上期	下期見通し	目標
12年度		13年度		

資産圧縮 【億円】



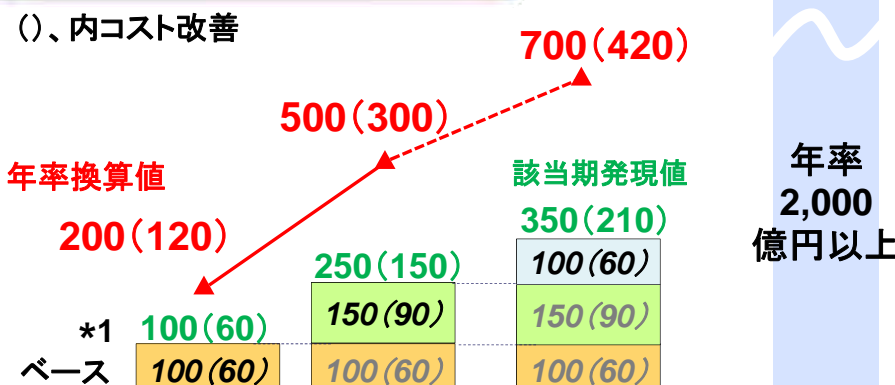
上期	下期	上期	3Q	下期見通し	目標
12年度		13年度			

D/Eレシオ



上期	下期	上期	3Q	下期見通し	目標
12年度		13年度			

統合効果 【億円】



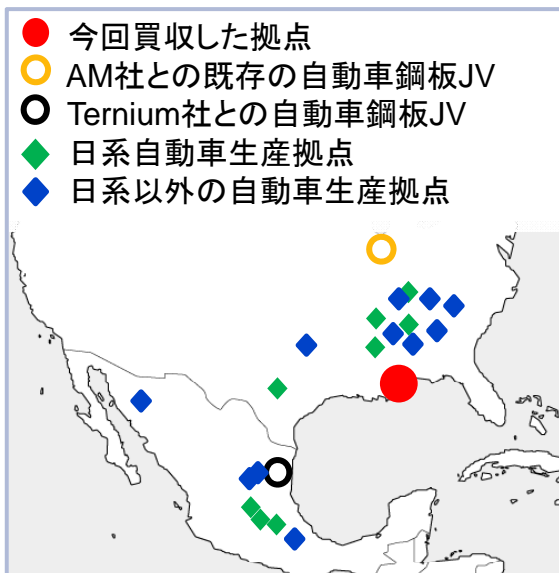
上期	下期	上期	下期見通し	目標
12年度		13年度		

*1 FY12上期：旧両社合算ベース *2 FY12/3Q末実績

成長を続ける米国自動車市場への供給体制を強化

- ◆ 北米の自動車販売台数は、今後5年で約7%成長
- ◆ 日系自動車メーカーを中心に北米での現地生産化が進展
- ◆ 自動車の低燃費化に伴い超ハイテン鋼など、新たなニーズも発現

1. 米国製鉄会社を買収・合併事業化：高級鋼板供給体制を確立



- ◆ ティッセンクルップ社・アラバマ工場をアルセロールミタル(AM)社と共同で買収、合併会社設立
- ◆ 買収金額総額：約 15.5億ドル（建設費用総額：約 36億ドル）
- ◆ 出資比率：当社 50%、AM社 50%
- ◆ 買収設備・能力（生産能力 / 年）：
 - 熱延（約 530万ト）
 - 連続酸洗（約 110万ト）
 - 酸洗・冷延（約 250万ト）
 - 連続焼鈍（約 60万ト）
 - 溶融亜鉛めっき（約 140万ト）



成長を続ける米国自動車市場への供給体制を強化

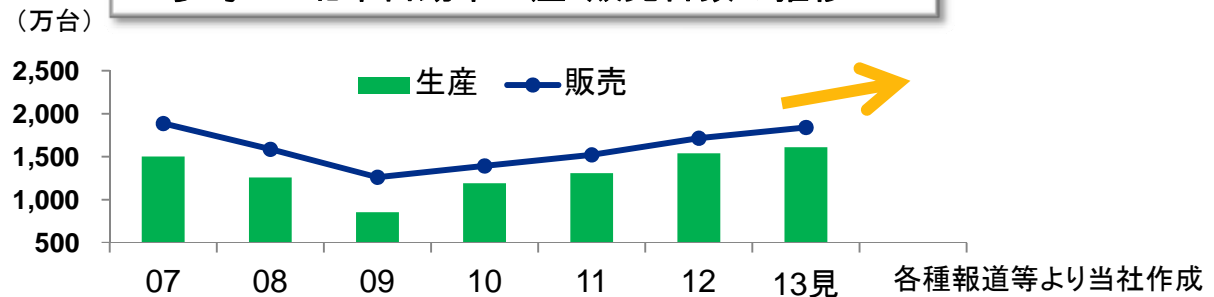
2. 鍛造クランクシャフト事業拡大: エンジン部品生産能力増強



- ◆ 米ケンタッキー州の子会社にてクランクシャフト生産を拡大
- ◆ 対象子会社: インターナショナル・クランクシャフト (ICI) 社
(当社出資比率: 80%)
- ◆ 投資金額: 約46百万ドル
- ◆ 増強設備: 5,000Tプレスライン(1基)
- ◆ 増強能力: 約130万本/年
(増強前: 270万本/年 → 増強後: 400万本/年)

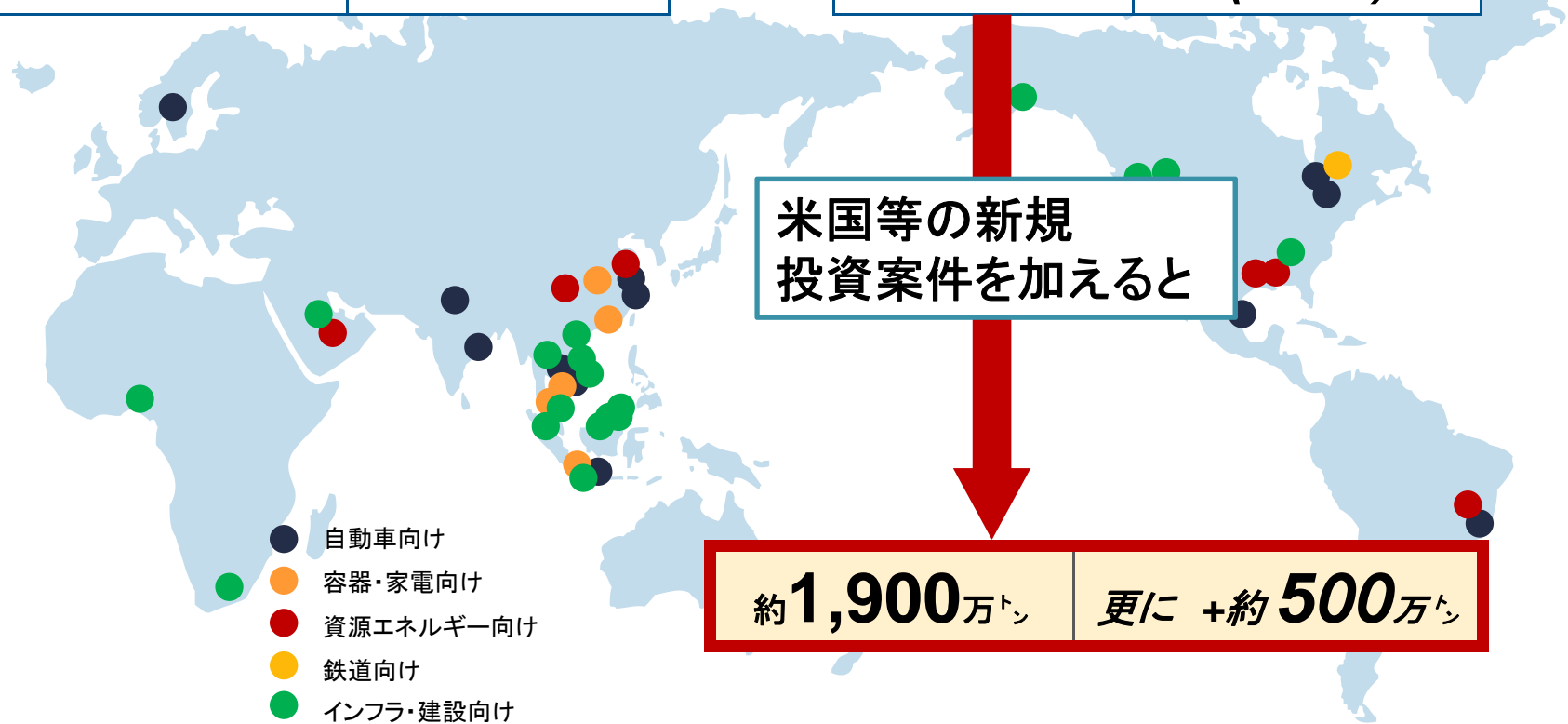


《参考》 北米自動車生産・販売台数の推移













順調に各拠点を営業運転開始。成長地域・分野での生産・販売体制を強化。

	'13/3E時点		'14/3E時点	増減
主要な海外JV 生産能力*1	約 900 万トン	➔	約 1,400 万トン	+ 約 500 万トン (+50%)



*1 当社の持分比率反映前
伯・ウジミナス社(高炉一貫製鉄所)除き

%: NSSMC出資比率		投資額	主要設備	製造能力	FY13	FY14	FY15
自動車用鋼板等	 Alabama plant 50% (アメリカ) (Arcelor Mittal とのJV)	約 15.5億\$ (買収金額総額)	熱延、冷延 CGL等	530万トン/年 -熱延		★ 取得手続き完了	
	 TENIGAL 49% (メキシコ)	約 300百万\$	CGL	40万トン/年	★ 13/8		
	 JCAPCPL 49% (インド) (TATA とのJV)	約 400億円	CAPL	60万トン/年	★ 14/1		
	 NSGT 100% (タイ)	約 300百万\$	CGL	36万トン/年	★ 13/10		
	 BNA 50% (中国) (No4 CGL新設)	約 11億元	No4 CGL	42万トン/年	CGL能力 (125万トン→167万トン)		★ FY15稼働開始
	 ICI 80% (アメリカ) (No4 鍛造プレスライン新設)	約 46百万\$	No4 鍛造 プレスライン	約 130万本/年	鍛造プレス能力 (270万本→400万本)		★ FY15稼働開始
建材薄板	 NSBS 50% (シンガポール他) (BlueScopeとのJV)	554百万\$ (グループ総額)	CGL等	140万トン/年 -CGL	★ 13/3 JV設立		
	 CSVC 30% (ベトナム)	1,150百万\$ (JV合計額)	CDCM	120万トン/年	★ 13/4~		
ブリキ	 WINSteel 50% (中国)	約 230億円	ブリキ ライン等	80万トン/年	★ 13/9~		
鋼管	 VSB 40% (ブラジル)	5.4bnBRL (VSB資本金)	シームレス パイプ等	60万トン/年 -SML	立ち上げ中		

事業基盤強化に向け、最適生産・業務運営体制の構築を推進中

◆設備休止、シフトダウンスケジュール

品種	製鉄所	休止 / シフトダウン	ライン	FY13	FY14	FY15
上工程	君津	休止	第3高炉	4Q		
			第5連鑄機	上期		
	和歌山	稼働延期	第2高炉			
薄板	鹿島	休止	No.2 酸洗、No.1 冷延、No.1 連続焼鈍、バッチ焼鈍、No.1 溶融亜鉛めっき、No.2 電気亜鉛めっき	4Q		
	和歌山	休止	No.3 酸洗、No.1 冷延、溶融めっき、連続焼鈍(電磁鋼板)	1Q		
	名古屋	休止	No.4 溶融亜鉛めっき	1Q完了		
			電気亜鉛めっき	4Q		
君津	休止	No.1 連続焼鈍	4Q			
厚板	鹿島、君津	シフトダウン	圧延	2Q完了		
鋼管	君津	休止	鍛接鋼管	4Q		

◆その他のスケジュール

項目	内容	FY13	FY14	FY15
組織統合・再編	製鉄所組織(八幡と小倉、和歌山と堺、君津と東京)を統合		4/1~	
チタン事業	チタン合金の製造体制確立に向け、合併新会社を設立		4/1~ (生産開始)	
電縫管事業	①子会社再編、②当社海外事業を子会社へ譲渡、③販売品種の最適化	①10/1~	②1/1~	③4/1~

事業競争力強化に向け、グループ会社の再編を推進中

対象事業	対象会社数	売上高 ^{*1} (億円)	従業員数 ^{*1} (人)	新会社名称等	FY12	FY13	FY14
商社	2社	約 18,950	7,385	日鉄住金物産株式会社		★ 13/10	
厚板加工	2社	約 70	154	日鉄住金神鋼シャーリング株式会社		★ 13/4	
高力ボルト	2社	約 160	373	日鉄住金ボルテン株式会社	★ 13/1		
材料分析、計測、検査	2社	約 370	2,941	日鉄住金テクノロジー株式会社		★ 13/4	
物流	2社	約 2,290	6,460	日鉄住金物流株式会社		★ 13/4	
パイプライン	2社	約 400	752	日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社	★ 12/10		
業務サービス	7社	約 130	959	拠点ごとの体制に再編整備 (7社→5社)			★ 14/7
設備エンジ・保全	9社	約 2,380	9,621	設備・エンジ保全分野における競争力強化	太平工業・日鉄エルクス ★ 13/10 ★ 14/10		

*1 統合検討開始および統合合意時の公表資料より、対象会社における該当の数値を合算。連結数値を開示の会社については連結数値を使用。

3. ご参考

世界の経済成長率推移

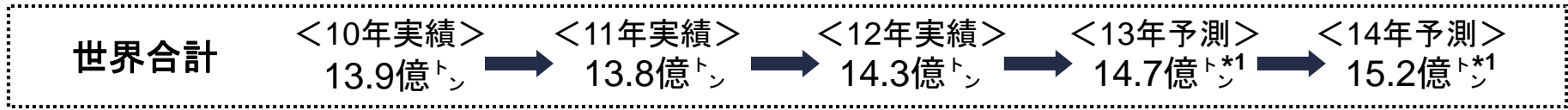
<2014年1月21日IMF改定値>

前回 (2013.10.7)

	CY07	CY08	CY09	CY10	CY11	CY12	CY13	CY14 見通し	CY15 見通し
世界合計	5.2	3.0	-0.5	5.3	3.9	3.1	(2.9) 3.0	(3.6) 3.7	3.9
先進諸国	2.7	0.5	-3.4	3.2	1.7	1.4	(1.2) 1.3	(2.0) 2.2	2.3
米国	2.1	0.4	-2.6	3.0	1.8	2.8	(1.6) 1.9	(2.6) 2.8	3.0
欧州	2.7	0.6	-4.1	1.9	1.5	-0.7	(-0.4) -0.4	(1.0) 1.0	1.4
日本	2.3	-1.2	-6.3	4.4	-0.6	1.4	(2.0) 1.7	(1.2) 1.7	1.0
新興諸国	8.3	6.1	2.7	7.5	6.2	4.9	(4.5) 4.7	(5.1) 5.1	5.4
中国	13.0	9.6	9.2	10.4	9.3	7.7	(7.6) 7.7	(7.3) 7.5	7.3
インド	9.4	7.3	6.8	10.6	6.3	3.2	(3.8) 4.4	(5.1) 5.4	6.4
ASEAN5^{*1}	6.3	4.7	1.7	7.0	4.5	6.2	(5.0) 5.0	(5.4) 5.1	5.6
ロシア	8.1	5.6	-7.8	4.3	4.3	3.4	(1.5) 1.5	(3.0) 2.0	2.5
ブラジル	5.7	5.1	-0.6	7.5	2.7	1.0	(2.5) 2.3	(2.5) 2.3	2.8

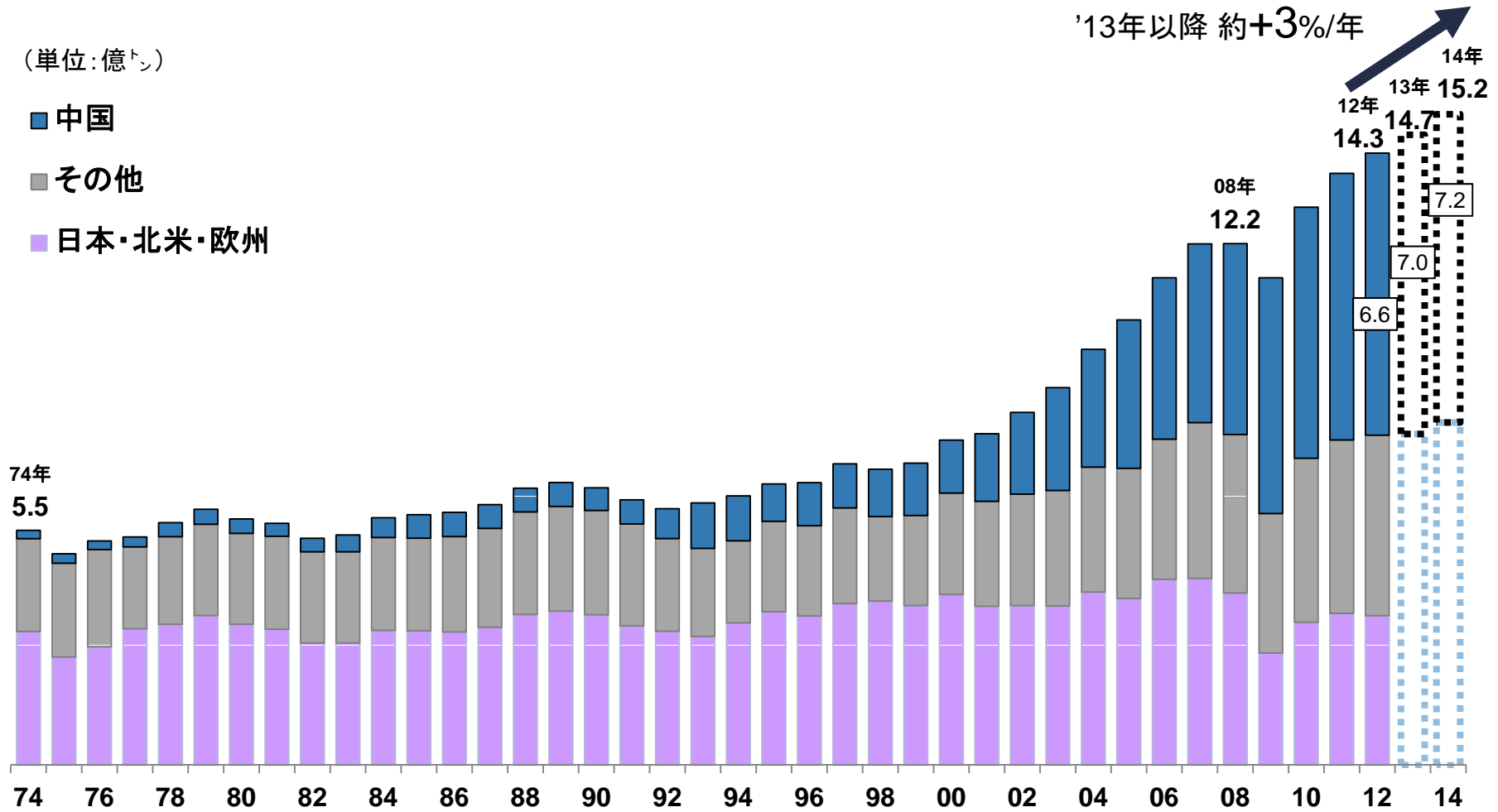
(出所: IMF) *1 ASEAN 5: タイ、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム

世界の鉄鋼需要推移(鋼材見掛消費)



(単位:億トﾝ)

- 中国
- その他
- 日本・北米・欧州



(出所: World Steel Association) *1 13~14年予測(13年10月WSA発表)

世界月別粗鋼生産量

(百万トン)	CY12 [A]						CY13 [B]						差異 (A→B)
	1-9	10	11	12	10-12	1-9	10	11	12	10-12			
世界計*1 (YoY)	773.6	129.0	124.1	124.9	378.0	1,521.3	1,186.5	134.3	128.1	133.6	396.0	1,582.5	+61.2
							+3.0%	+7.1%	+5.0%	+9.3%	+7.1%	+4.0%	
日本 (YoY)	54.1	9.3	9.2	8.8	27.3	107.2	82.4	9.5	9.3	9.3	28.1	110.6	+3.3
	-0.0%	+1.1%	+3.3%	-1.0%	+1.1%	-0.3%	+1.4%	+7.8%	+9.0%	+9.0%	+8.6%	+3.1%	
韓国 (YoY)	34.9	5.9	5.6	5.7	17.2	69.1	48.7	5.9	5.6	5.9	17.3	66.0	-3.1
	+2.8%	+4.1%	+2.0%	+2.8%	+3.0%	+0.8%	-6.6%	+4.7%	-0.3%	+1.6%	+2.0%	-4.4%	
米国	46.2	7.3	7.6	6.8	21.8	88.7	65.3	7.4	7.1	7.2	21.7	87.0	-1.7
EU27	88.8	14.3	11.9	14.3	40.4	168.6	123.6	14.7	14.3	13.0	42.0	165.6	-3.1
ロシア	35.7	5.9	5.9	6.0	17.8	70.4	52.0	5.9	5.7	5.8	17.4	69.4	-1.0
ブラジル	17.4	3.0	2.9	2.9	8.7	34.5	25.8	3.0	2.7	2.7	8.3	34.2	-0.3
インド	38.7	6.4	6.6	6.2	19.2	77.6	61.0	6.7	6.7	6.9	20.3	81.2	+3.7
中国 (YoY)	361.4	61.6	58.7	58.9	179.3	716.5	586.3	65.1	60.9	66.9	192.8	779.1	+62.5
	+3.6%	+4.2%	-1.6%	+2.3%	+1.6%	+3.1%	+8.4%	+10.1%	+5.9%	+12.8%	+9.7%	+8.7%	

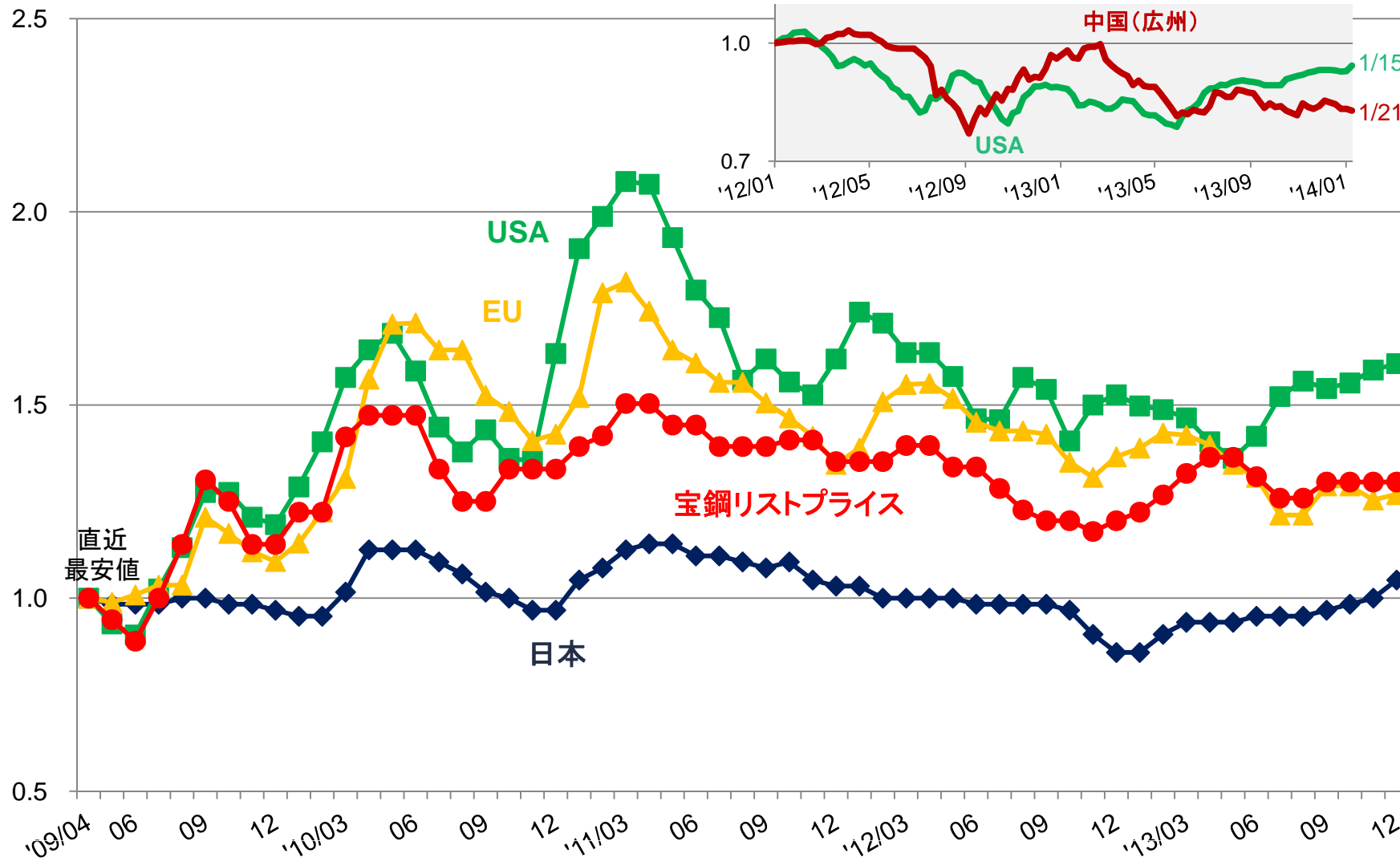
(出所 : World Steel Association)

*1 世界65カ国の合計値

世界各国ホットコイル市況推移

(2009年4月各現地通貨ベースホットコイル価格=1.0)

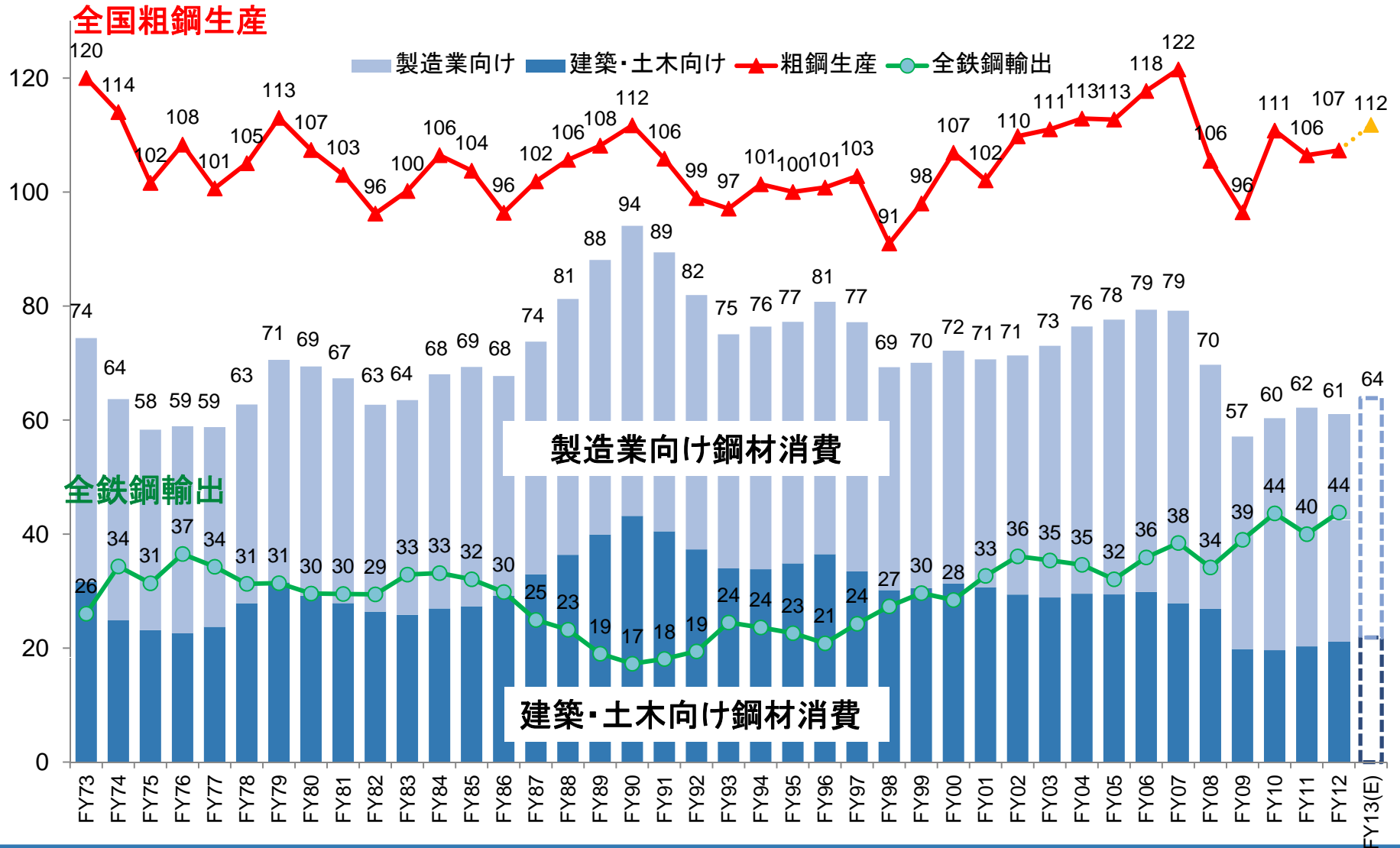
cf1) 直近の米国・中国(広州)市況 (2012年1月起点)



(出所: 日本鉄鋼連盟等データより当社作成)

国内鋼材消費推移

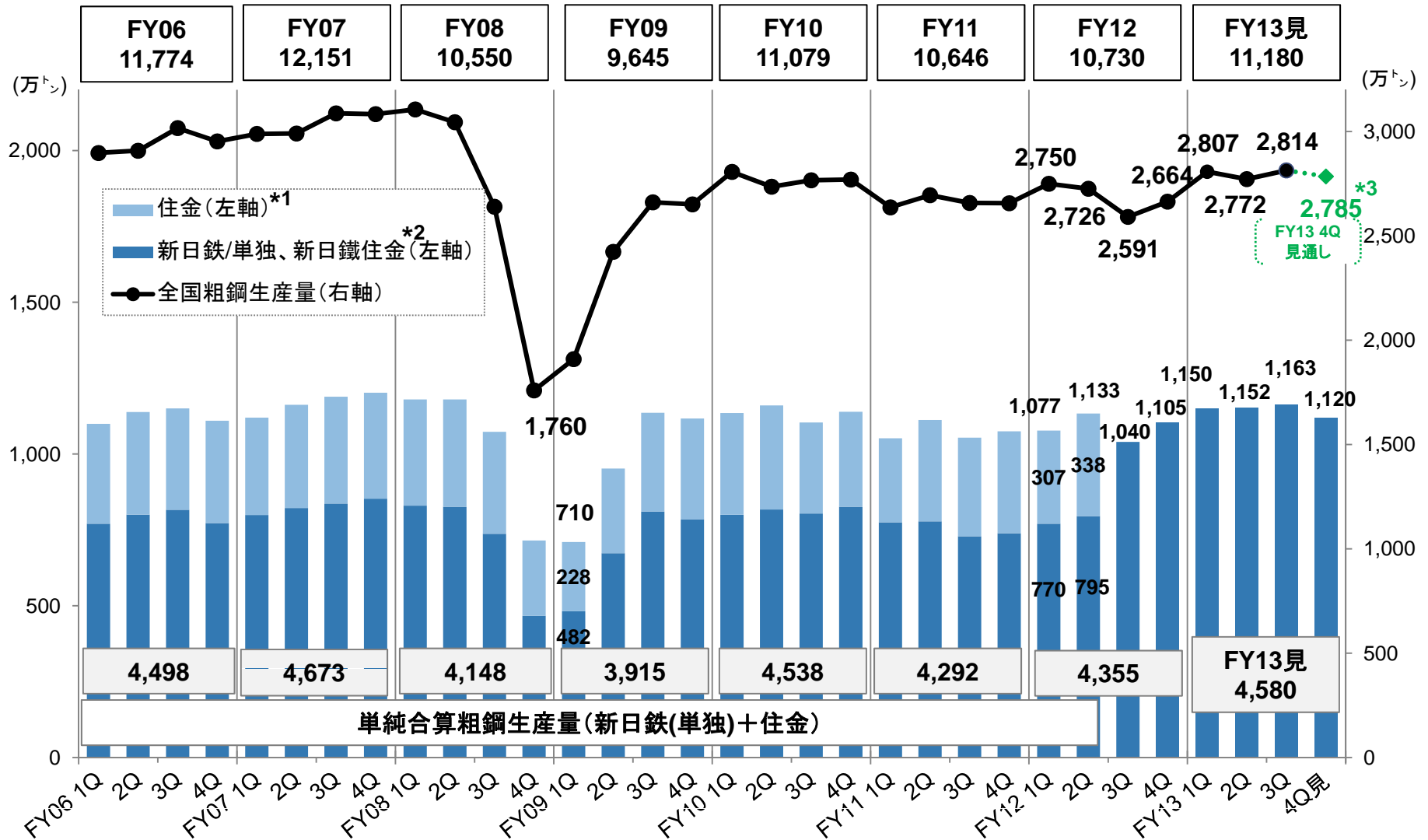
(百万トン)



(出所:各種統計資料・当社推定)

国内粗鋼生産量 四半期別推移

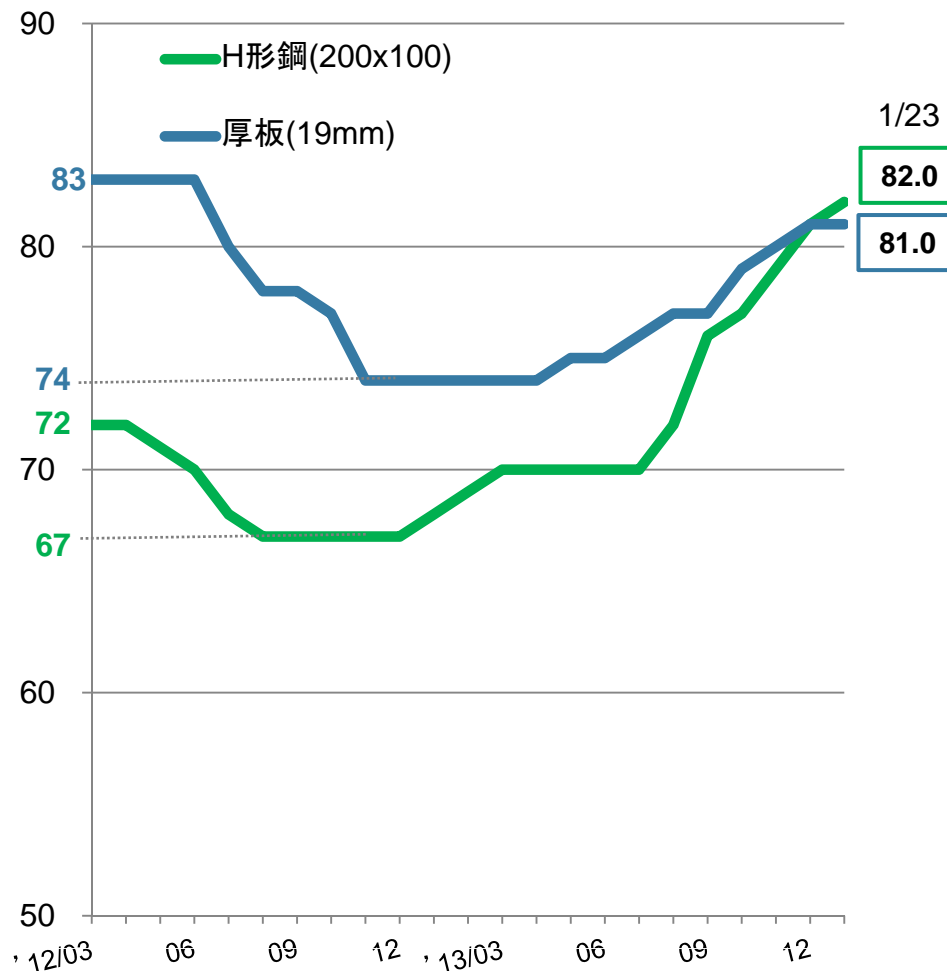
全国粗鋼生産量



*1 住金: 旧住金小倉・住金直江津・住金鋼鉄和歌山含み
 *2 新日鐵住金: 日鐵住金鋼鉄和歌山含み
 *3 經濟産業省発表 FY13 4Q鋼材需要見通し(2013/12/25)

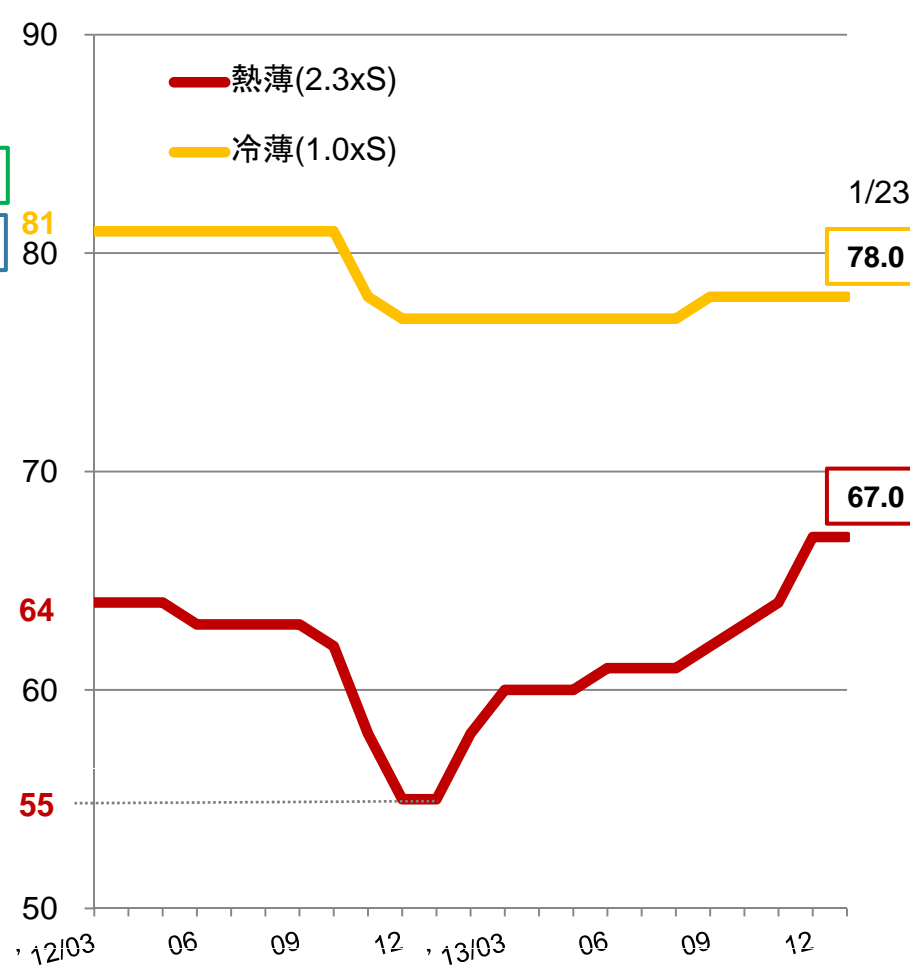
厚板・H形鋼

(千円/トン)



熱延・冷延

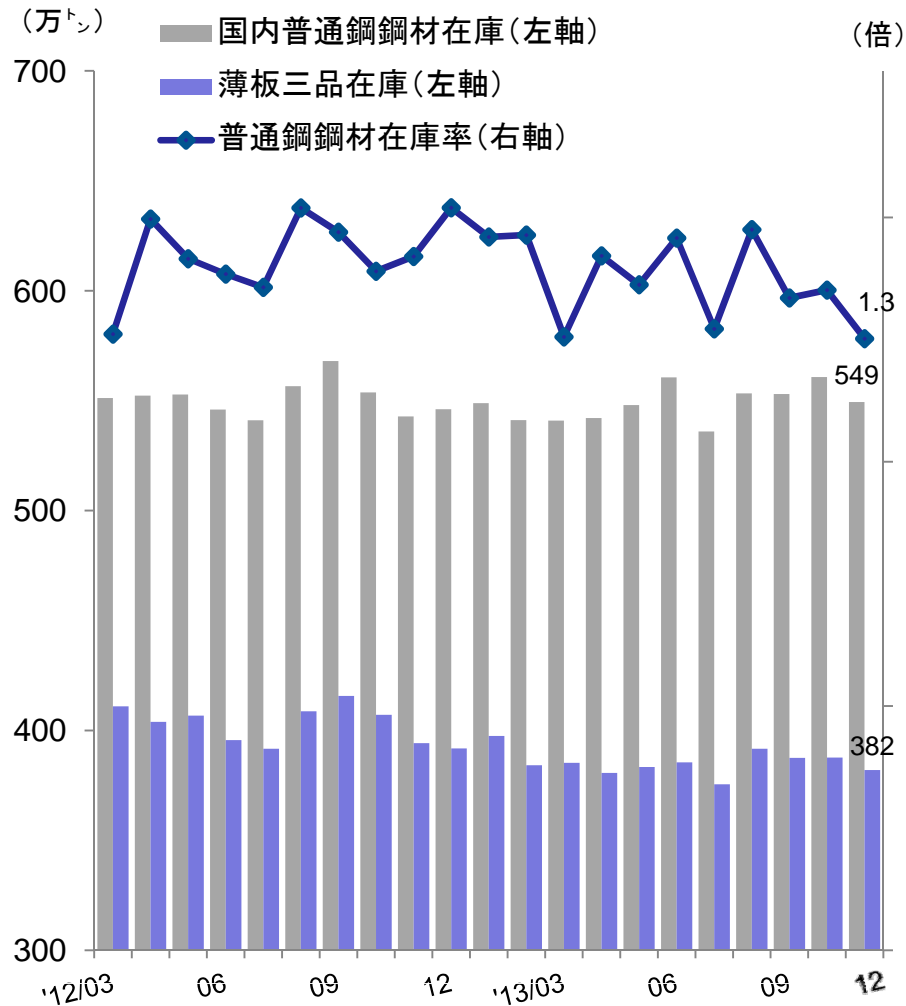
(千円/トン)



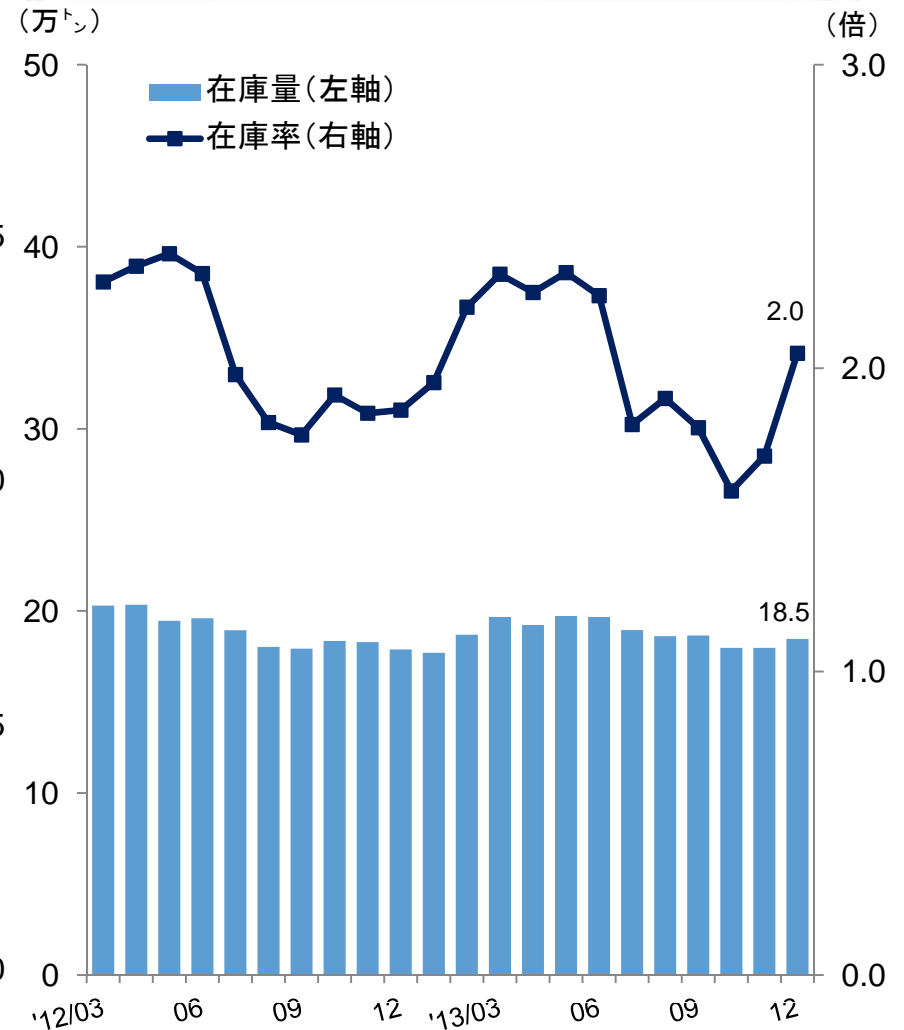
(出所: 鉄鋼新聞・月末・東京安値、問屋間仲間相場価格)

国内鋼材在庫推移

普通鋼鋼材・薄板三品在庫

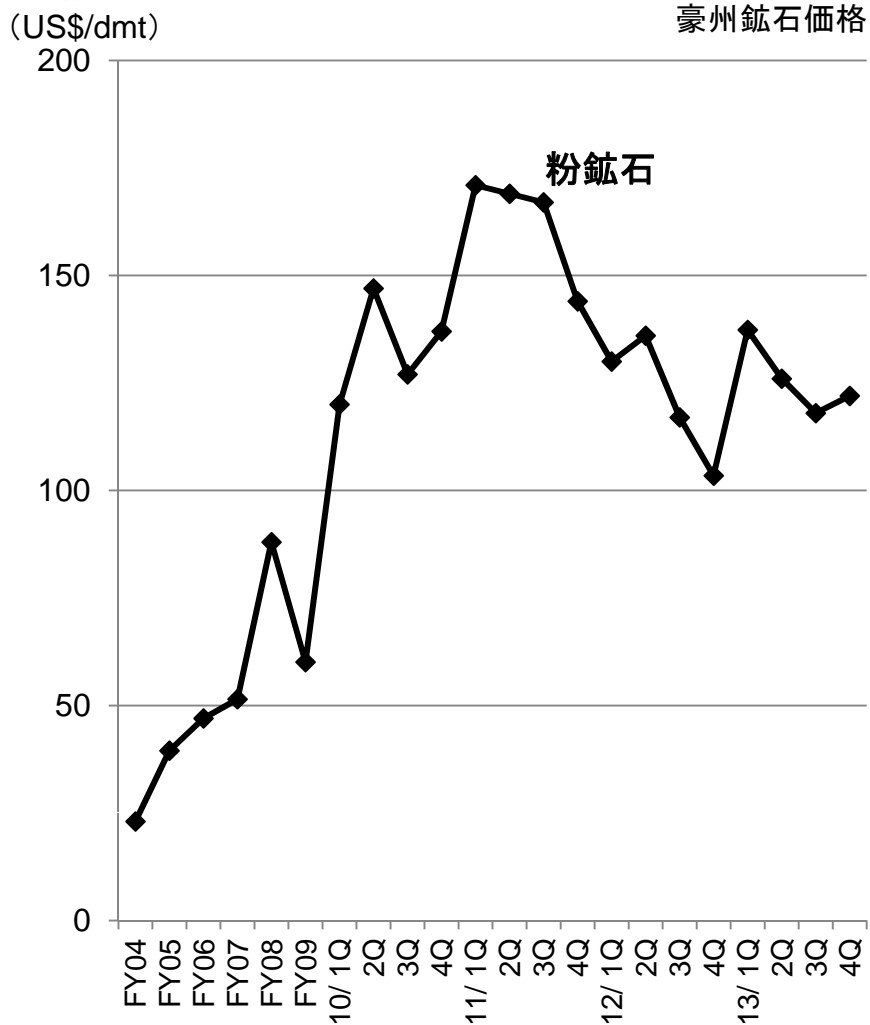


ときわ会(H形鋼)在庫

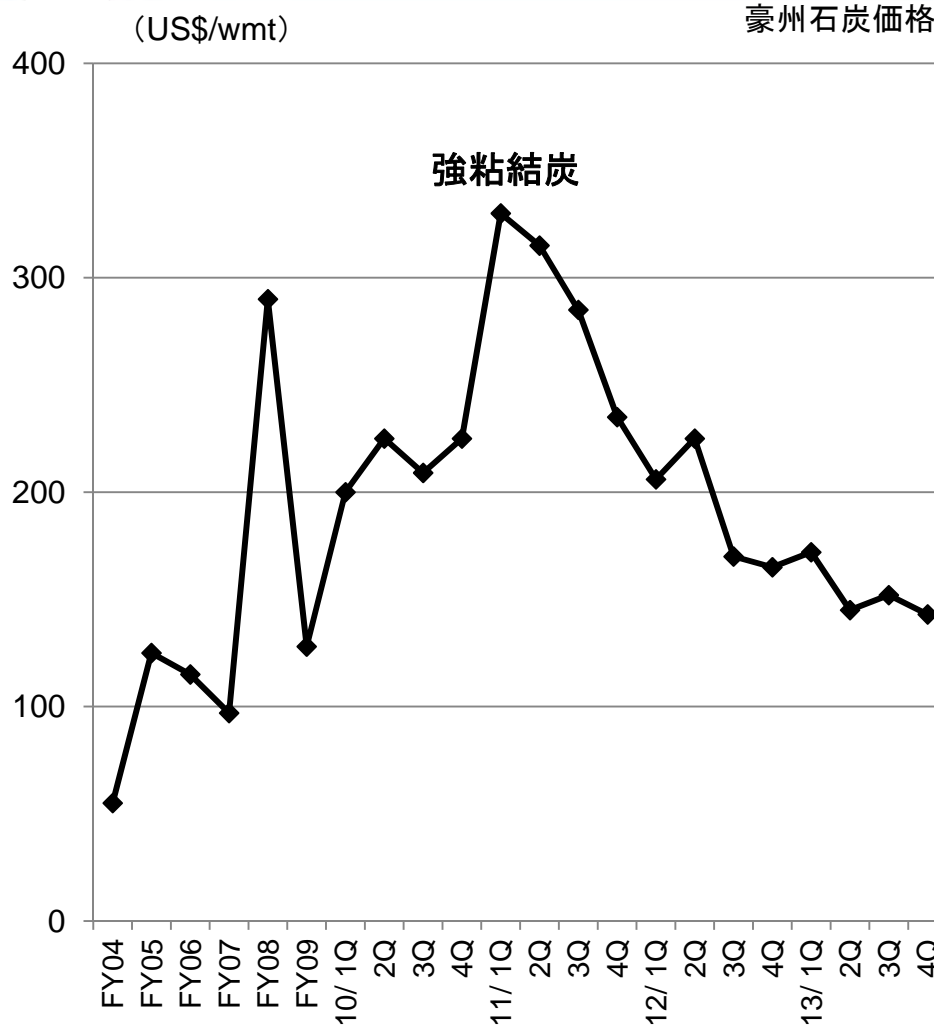


(出所: 日本鉄鋼連盟)

鉄鉱石

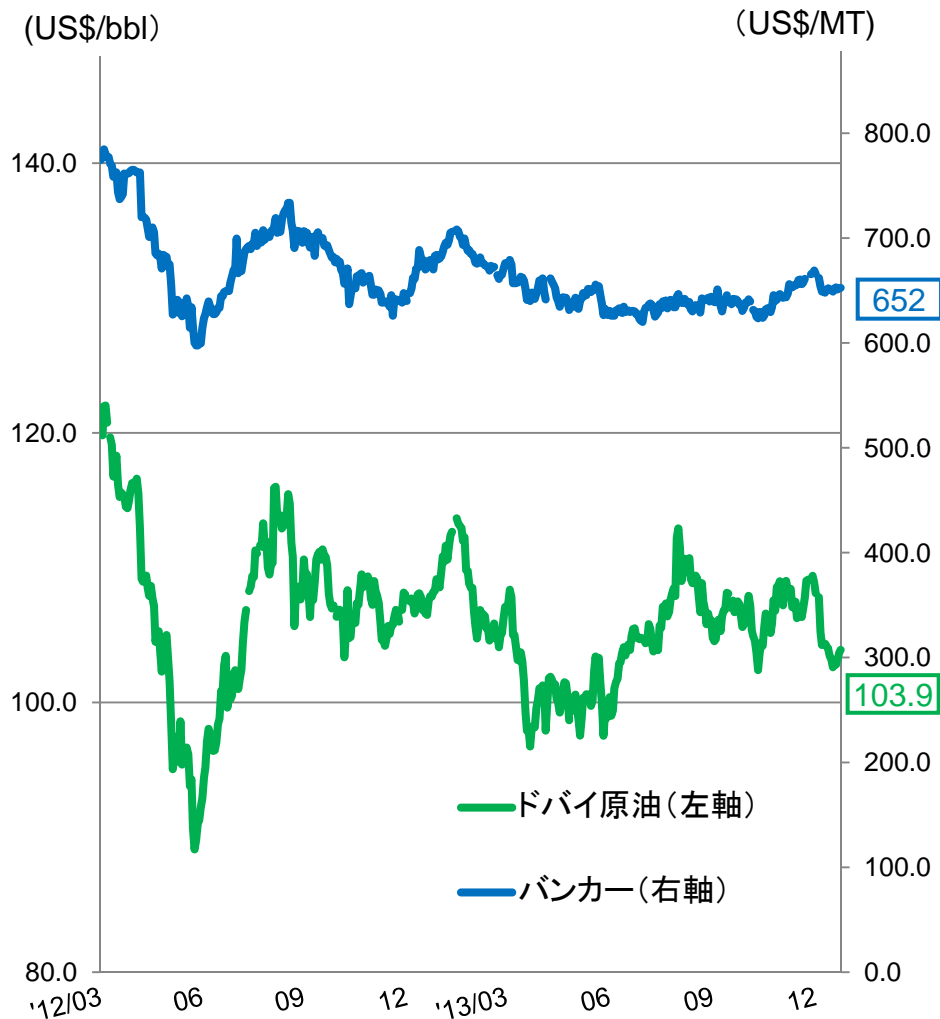


原料炭

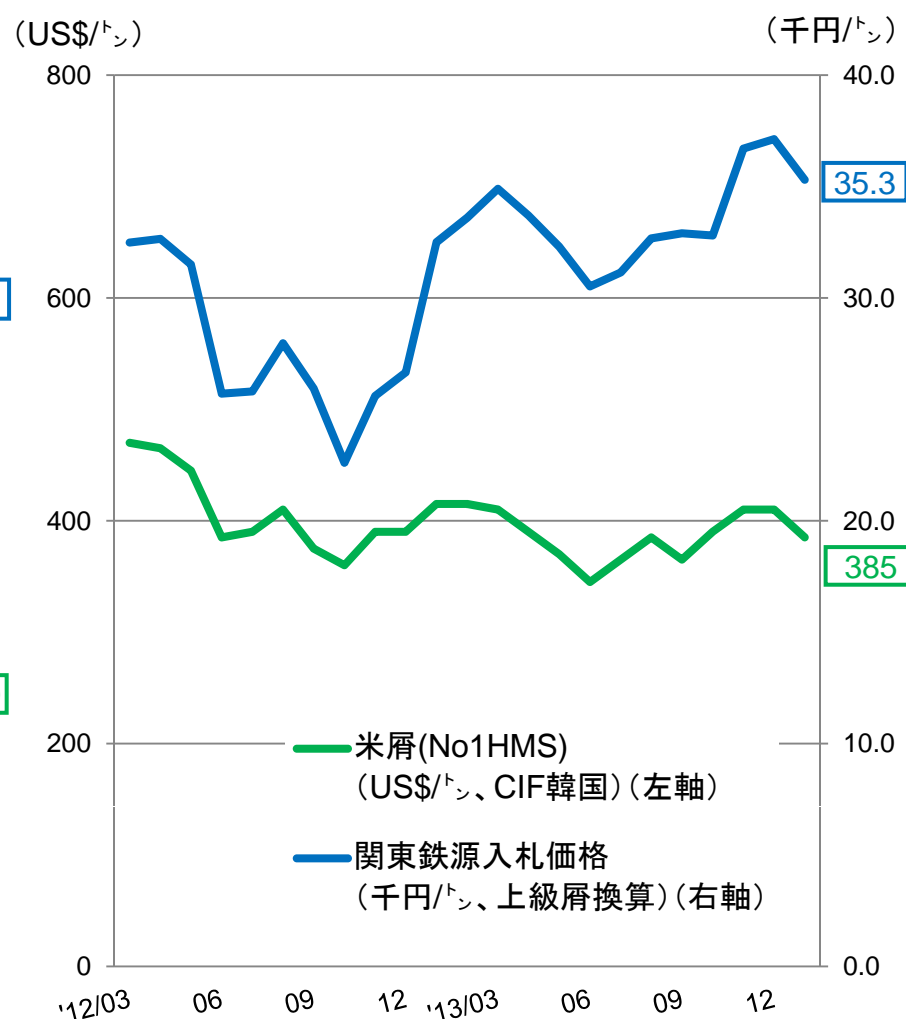


原料市況 <原油・スクラップ>

原油



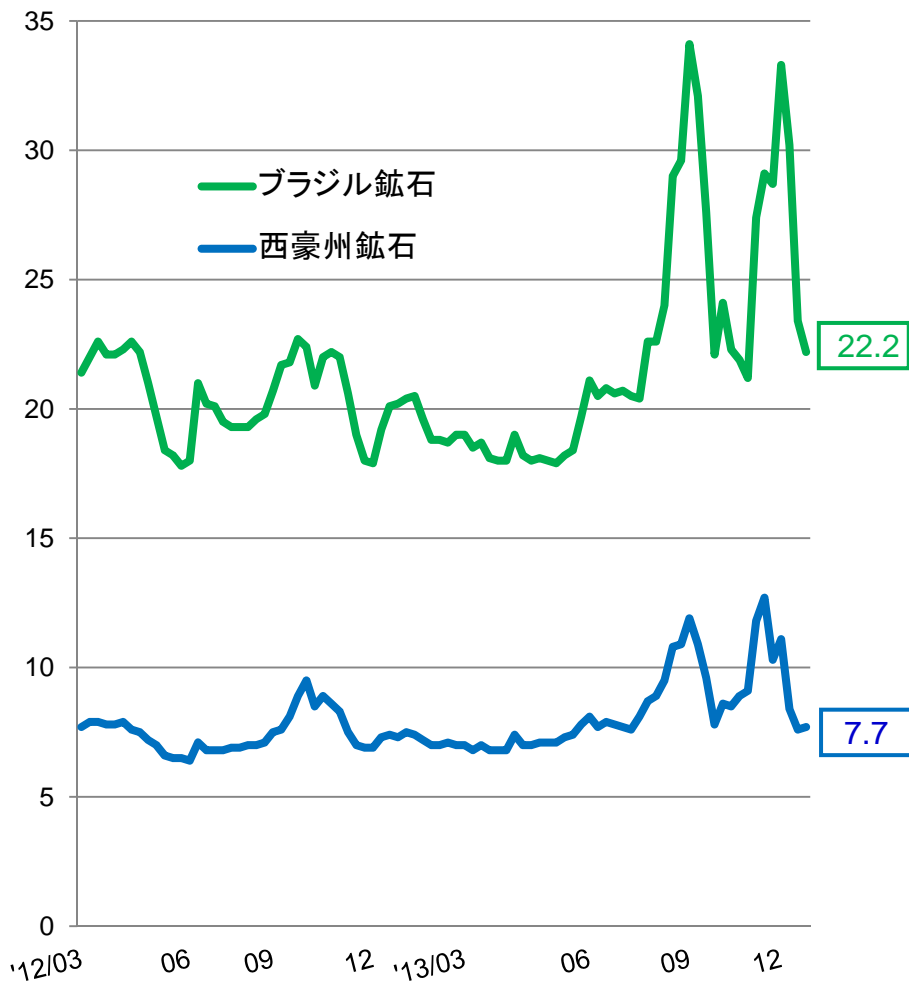
スクラップ



原料市況 <フレート・型鉄>

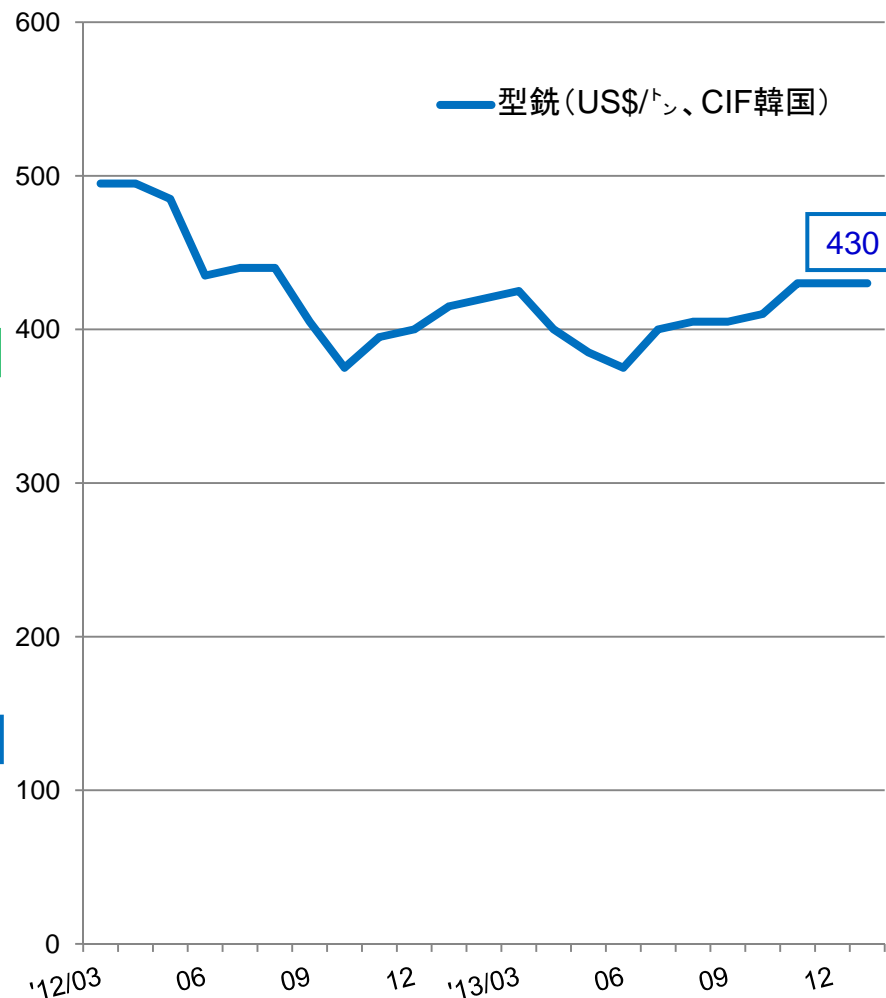
フレート

(US\$/WMT, ケープサイズ 170千t船型)

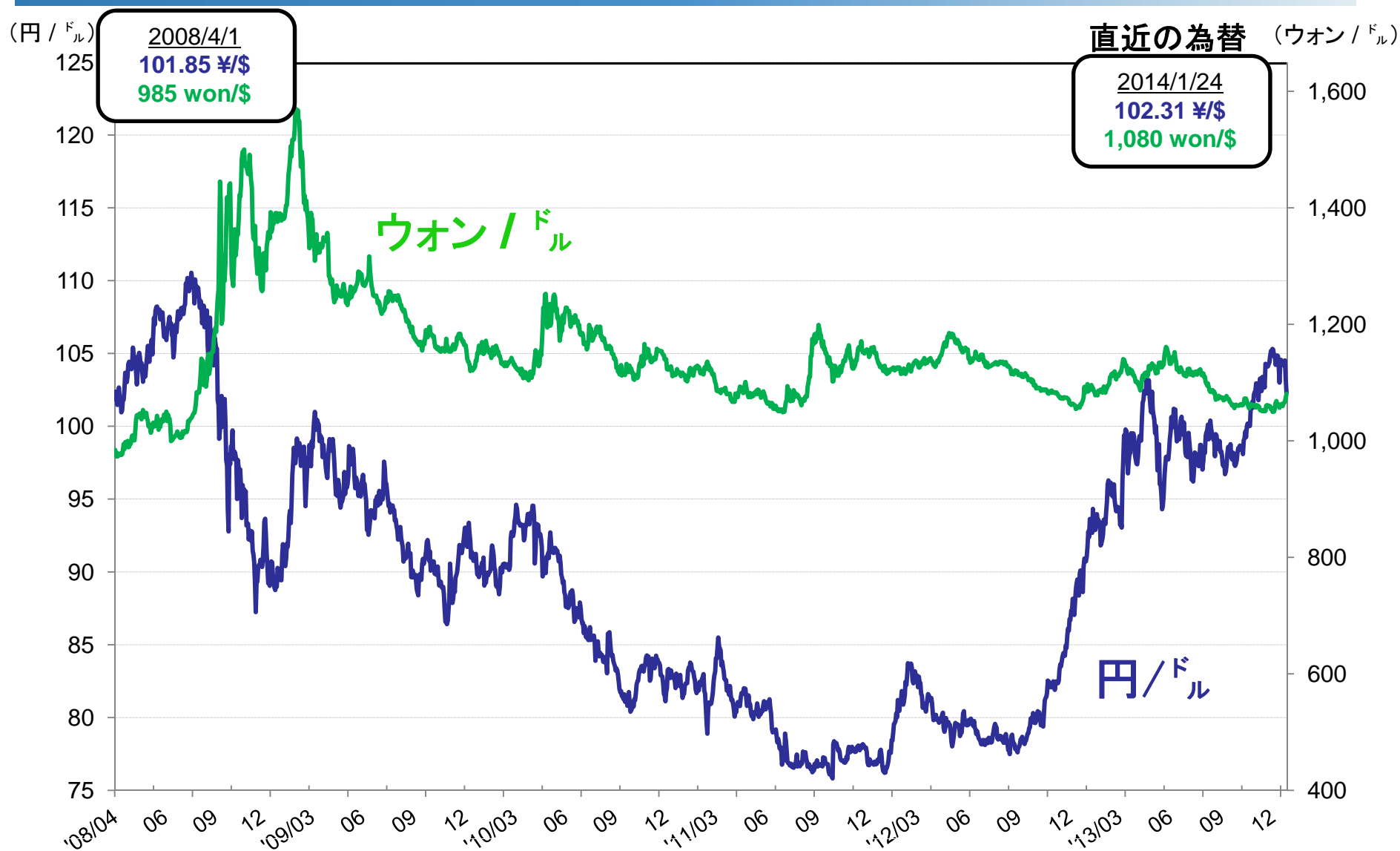


型鉄

(US\$/T, CIF 韓国)



為替推移 (円/ドル, ウォン/ドル)



本資料は、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された将来の予測等は、説明会の時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみに依拠して投資判断されますことはお控えくださいますようお願い致します。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。